

授業計画(シラバス)

科目名	建築計画	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築計画】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科 I 建築計画	気候・空気/熱
	2	学科 I 建築計画	光/音
	3	学科 I 建築計画	色彩/計画原論・用語・単位
	4	学科 I 建築計画	住宅建築/商業建築
	5	学科 I 建築計画	公共/各部計画
	6	学科 I 建築計画	建築生産/都市計画
	7	学科 I 建築計画	空気調和設備/給排水衛生設備
	8	学科 I 建築計画	電気・照明/消火・消防設備・省エネ
	9	学科 I 建築計画	厳選問題
	10	学科 I 建築計画	厳選問題
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築法規	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築法規】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅱ 建築法規	用語の定義/確認申請・建築手続
	2	学科Ⅱ 建築法規	面積・高さ等の算定/一般構造
	3	学科Ⅱ 建築法規	耐火・防火/防火地域・準防火地域・防火区画
	4	学科Ⅱ 建築法規	避難施設・内装制限/構造計算・構造強度
	5	学科Ⅱ 建築法規	敷地等と道路・用途地域/建蔽率・容積率・高さ制限
	6	学科Ⅱ 建築法規	日影規制・雑則・その他/建築士法
	7	学科Ⅱ 建築法規	高齢者、障害者等の移動等の円滑化
	8	学科Ⅱ 建築法規	耐震改修の促進・住宅の品質確保
	9	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅱ 建築法規	厳選問題Ⅱ
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築構造	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築構造】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科Ⅲ 建築構造	力のつり合い/反力
	2	学科Ⅲ 建築構造	応力/トラス
	3	学科Ⅲ 建築構造	断面の性質/座屈
	4	学科Ⅲ 建築構造	応力度/荷重・外力
	5	学科Ⅲ 建築構造	地盤・基礎/木造
	6	学科Ⅲ 建築構造	鉄筋コンクリート/壁構造
	7	学科Ⅲ 建築構造	鉄骨造
	8	学科Ⅲ 建築構造	構造計画
	9	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅰ
	10	学科Ⅲ 建築構造	厳選問題Ⅱ
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	建築施工	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義: ○	演習:	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科試験【建築施工】において、25点中20点以上の取得を目指す。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	学科IV 建築施工	契約/施工計画
	2	学科IV 建築施工	管理計画/仮設工事
	3	学科IV 建築施工	地盤・土工事・基礎/鉄筋工事
	4	学科IV 建築施工	型枠工事/コンクリート工事
	5	学科IV 建築施工	鉄骨工事/コンクリートブロック
	6	学科IV 建築施工	木工事/防水工事・左官工事・タイル工事
	7	学科IV 建築施工	塗装工事・建具・ガラス工事
	8	学科IV 建築施工	内装工事・改修工事
	9	学科IV 建築施工	厳選問題 I
	10	学科IV 建築施工	厳選問題 II
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	2級建築士演習	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建築施工管理職として4年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習: ○	実習: 実験:
単位数	4 単位	総時間	60 時間 週時間数 6 時間
学習到達目標	二級建築士学科演習を行い、総合的に学習を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	2級建築士試験 学科 ポイント整理と確認問題		
授業外学習の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	2	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	3	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	4	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	5	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	6	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	7	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	8	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	9	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	10	問題演習	全範囲において演習問題を行い。ポイントの整理とアドバイスを行う
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない 対面授業が困難な場合は遠隔授業も併用			

授業計画(シラバス)

科目名	設計製図	指導担当者名	池田 時好
実務経験	構造設計事務所にて構造設計業務に12年従事		実務経験: 有
開講時期	前期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実験:
単位数	8 単位	総時間	240 時間 週時間数 30 時間
学習到達目標	二級建築士試験【設計製図試験】の課題を5時間で完成し、合格できる図面を仕上げる。		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	-		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 前期	1	設計製図	製図の描き方
	2	設計製図	作図スピード強化
	3	設計製図	エスキースの手順・練習
	4	設計製図	計画の要点・法規
	5	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	6	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	7	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	8	設計製図	模試試験・要点確認・再作図
	9		
	10		
	11		
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない			

授業計画(シラバス)

科目名	修了制作	指導担当者名	近内 広樹
実務経験	建築施工管理職として4年従事		実務経験: 有
開講時期	後期	対象学科学年	2級建築士専攻科1年
授業方法	講義:	演習:	実習: ○ 実験:
単位数	7 単位	総時間	210 時間 週時間数 20 時間
学習到達目標	教室リノベーション実習に伴う、施工図の作成・工事計画・施工管理・施工を行う		
評価方法 評価基準	半期の考査で評価。授業への取り組み姿勢、通常時の課題等の考慮する。		
使用教材	-		
授業外学習 の方法	テキストの予習		
学期	ターム	項目	内容・準備資料等
授業計画 後期	1	リノベーションの計画	現地調査/現況図面作成・プランニング
	2	リノベーションの計画	プレゼンテーション
	3	実施設計	見積り作成・施工図作成
	4	実施設計	見積り作成・施工図作成
	5	施工計画	施工計画・施工図作成
	6	施工計画	工事全体の把握・各部詳細図の作成
	7	材料積算	施工図を基に積算を行う
	8	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	9	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	10	現場施工	工事計画に沿って施工を進める
	11	竣工	完成引き渡し
	12		
	13		
	14		
	15		
	16		
	17		
	18		
履修上の留意点 出席率80%に満たない場合は期末試験の受験資格が得られない ターム時間数は、1～10は20時間 11は10時間			